



九州大学

九州大学広報室

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1

TEL:092-642-2106 FAX:092-642-2113

MAIL:koho@jimu.kyushu-u.ac.jp

URL:http://www.kyushu-u.ac.jp

PRESS RELEASE (2010/12/09)

九州国立博物館と九州大学が共同で iPad を活用した展示ガイドの実証実験を実施

概 要

九州国立博物館と九州大学は、2010年12月14日（火）から12月19日（日）まで、九州国立博物館の文化交流展示室において、「パーソナルミュージアムコンセルジュの開発」の実証実験を実施します。高性能携帯端末のiPadを活用することにより来館者の鑑賞体験をサポートし、博物館体験の質的向上をより高めるために、有形文化財のデジタルアーカイブを活用した展示ガイドを試験的に導入し、その効果を検証します。

■背 景

近年、テクノロジーの進歩に伴うメディアの多様化は加速する一方であり、そこに暮らす我々の価値観も変化しており、国内外を問わず、若年層を中心とした施設ミュージアム離れは、より深刻な状況に陥っています。現在、公共施設は様々な見直しが行われ、指定管理者制度による民間的手法の導入、施設運営における評価システムの導入やその報告義務等が課せられるようになりました。さらに、来館者数の増加と効果的な展示企画を図るには、来館者との有効な関係を築くことが前提にあり、海外では館内展示が効果的に行われているかを測る「展示評価」という概念を用いる事例が増えてきました。一方で、日本を含むアジア諸国の博物館では欧米に比べ、実践的な来館者支援や展示評価に関する試みは、まさにこれから始まろうとしているところです。

こうした現状を踏まえ、九州大学大学院芸術工学研究院金大雄研究室では、九州国立博物館の協力を得て、来館者の年齢や訪問目的などの状況に合わせた最適な閲覧ルートのプラン設計が自動的に行われ、展示場内において、来館者が一部に滞留しない効率的なルートデザインが自動的かつ瞬時に組まれるシステムの開発を進めてきました。

■内 容

今回、館内位置情報に連動した音声、映像、インタラクティブコンテンツによる展示ガイドを、iPadアプリとして開発しました。金大雄研究室が九州国立博物館と協力して進めてきた有形文化財のデジタルアーカイブを活用し、高精細な映像解説や360度から立体的に楽しめるガイドなどを提供します。また、一般の来館者に加えて、エンターテインメント要素を取り入れた子ども向けの展示ガイドも用意するなど、今後のデジタルコンテンツが果たす教育的効果についても検証します。

「九州国立博物館 パーソナルミュージアムコンセルジュ」

日時：2010年12月14日（火）～12月19日（日） 9：30～17：00

場所：九州国立博物館 文化交流展示室

対象：九州国立博物館 入館者 料金：無料 使用端末：iPad 10台

利用方法：文化交流展示室入口の受付カウンターにて、iPadを貸出します。

■効 果

多様化するメディアの変化に対応した展示ガイドを提案、検証することで、ミュージアム離れの進む若年層をはじめ、あらゆる年齢層の来館者が満足できる博物館体験の向上を促すことができます。

■今後の展開

今回のような幅広い年齢層からのフィードバックをもとに、幅広い来館者の行動や嗜好に関するデータを蓄積、分析を行うことで、より最適な観覧推薦システムへ改善していき、今後の九州国立博物館での運用を目指していきます。



図 1. 音声解説ページ



図 2. 360° 鑑賞可能なガイドコンテンツ



図 3. 子ども向け展示ガイド

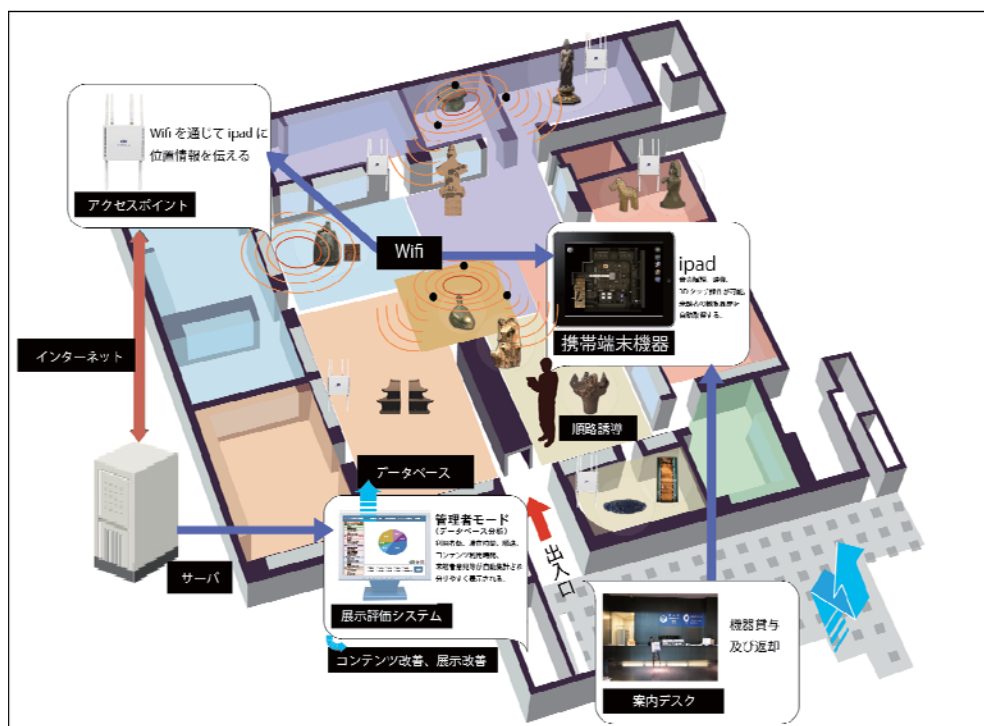


図 4. システム概要

【システム等に関するお問い合わせ】

九州大学 大学院芸術工学研究院 准教授 金 大雄
 TEL : 092-553-4519 FAX : 092-553-4519
 Mail : dwkim@design.kyushu-u.ac.jp

【取材に関するお問い合わせ】

九州国立博物館 広報課 緒方
 TEL : 092-929-3272 FAX : 092-929-3276